

3 研究のまとめ

(1) 成果

- ・インターネットや情報端末を適切に活用していこうとする態度の育成
情報を発信する際の留意点について学ぶことは、インターネットや情報端末などを適切に活用しようとする態度の育成に有効であったと考えます。
- ・話し合う活動を取り入れた学習の工夫
小集団での話し合う活動は、発表や説明が苦手な生徒にとって、気軽に話すことができ学習に参加しやすくなったと考えます。ペア学習による役割演技も、思考を深めるために有効な手段であったと考えます。
- ・関心を高め、理解を深める学習活動
情報モラル教育は、保護者の協力が必要です。授業後に保護者からの意見を記述してもらうことで、生徒と保護者で話し合う機会を意図的に作り出すことができました。また、生徒は保護者からの意見を聞くことで、安全性や経済的負担等、より多角的な考え方に気付くことができたと考えます。

(2) 課題

情報を複数の視点から話し合い、判断した根拠を明確にして、考えたことを説明する力の育成では、異なった視点から考える場面設定が重要になります。同じ傍観者の立場でも、仲裁者に近い立場や観衆に近い立場等、異なった会話の場面を仕組み、違う考え方があることに気付かせる話し合う活動を増やしていくことが必要と考えます。